

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

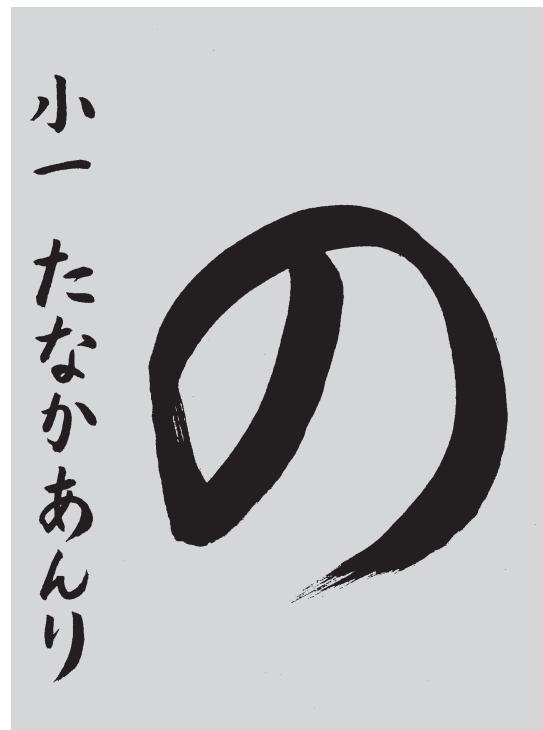
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

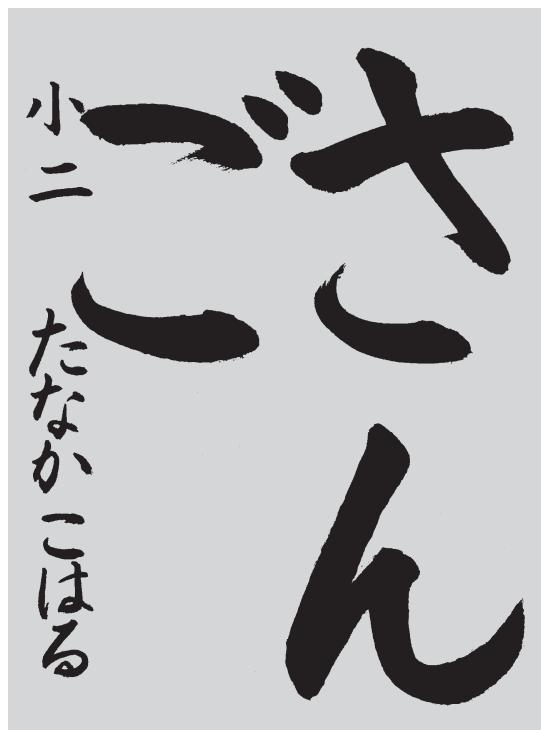


牧 泰濤先生

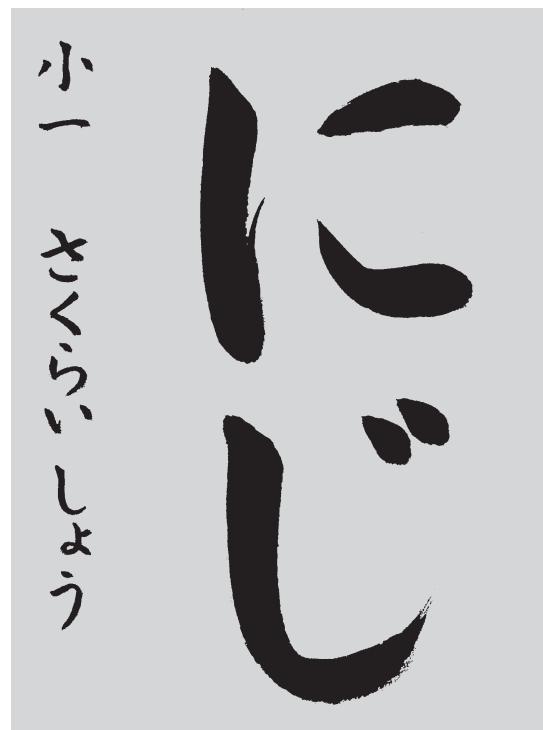
幼・小学1年参考手本



田中扇溪先生



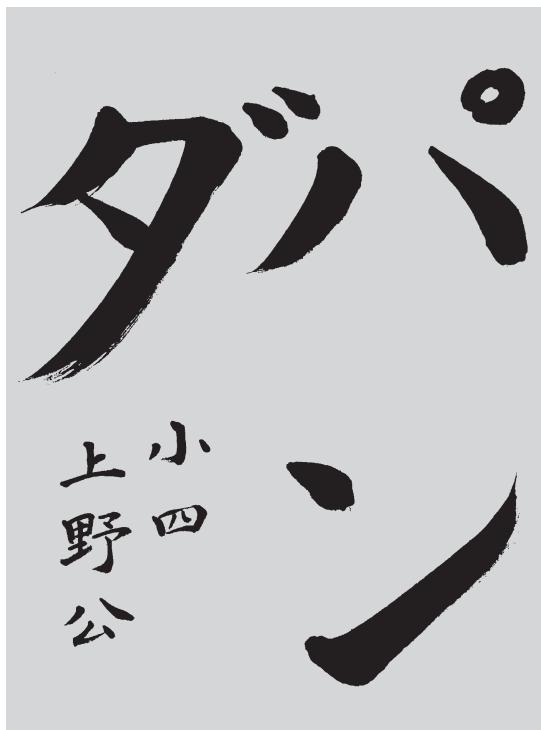
恒次鶴城先生



前田龍雲先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



大野祥雲先生

小学3年参考手本



橋本玉扇先生



小林琴水先生



川島舟錦先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

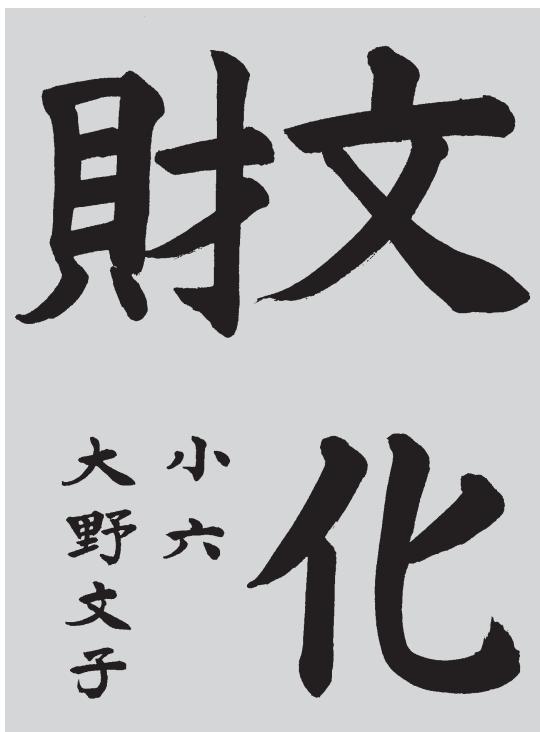


半田藤扇先生

小学5年参考手本



種谷萬城先生



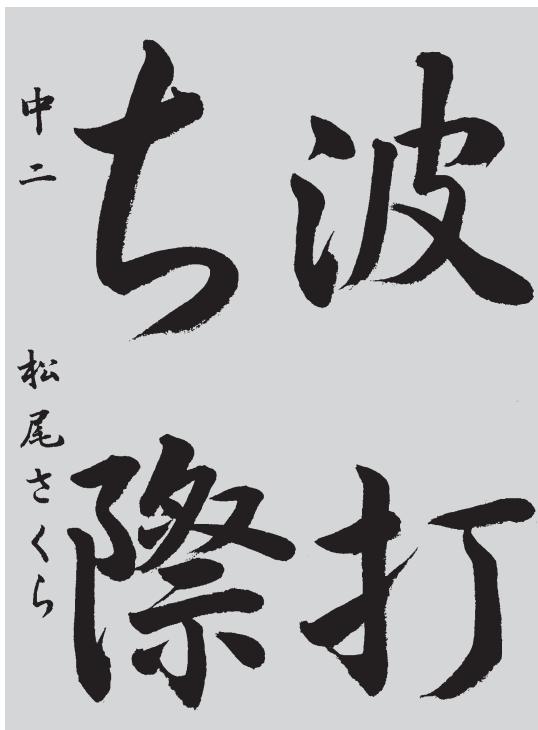
辻元大雲先生



小浜大明先生

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

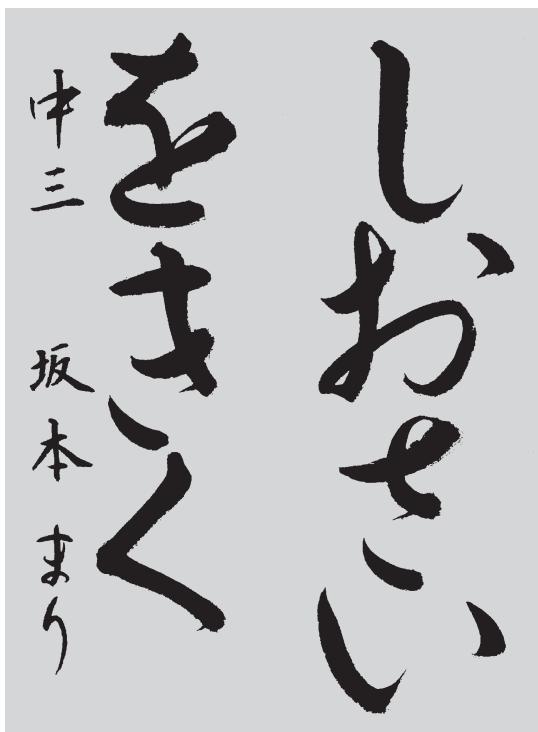
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



名 越 蒼 竹 先生



川 村 美 泉 先生



下 谷 洋 子 先生



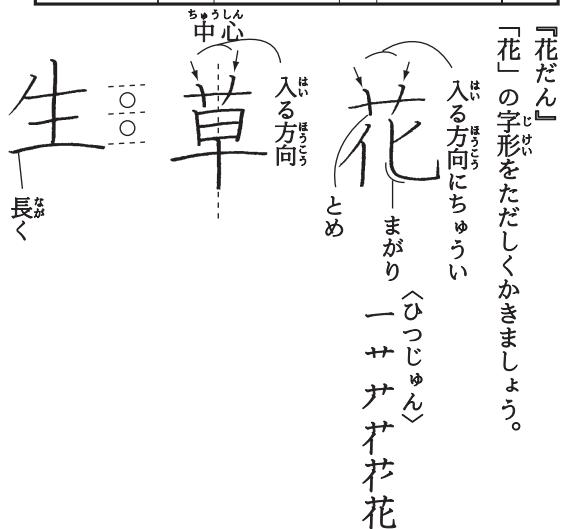
小 竹 石 雲 先生

〔7月10日締切課題〕作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

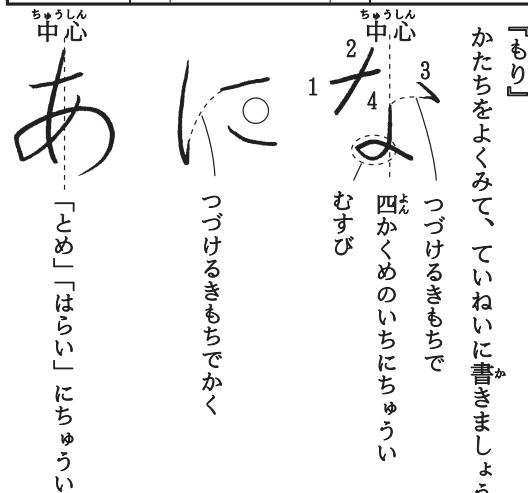
小学2年

幼・小学1年

支部名	て		
段・級	き	花	
学年	ま	た	ん
二	し	に	に
名前	た	草	草
白木南	.	が	が
		生	生
		え	え



支部名	い		
だん・きゅう	え	も	
がくねん	が	り	の
一	あ	な	な
なまえ	り	か	か
たじまもか	ま	に	に



〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	て い き ま し た 。	青 い 空 を ゆ つ く り 飛 ん	大 き な 白 い 飛 行 船 が、
段・級			
学年	四		
名前	浅川和希		

中心
空

長く
か（あなかんむり）+工

舟

（筆順）
力 冂 丶 舟 船 船

飛

（筆順）
フ フ フ フ フ フ

『飛行船』

点の方向と位置

筆順に気をつけて、字形を整えましょう。

支部名	に 帰 り ま し た 。	兄 と い つ し よ に 家
段・級		
学年	三	
名前	風間新太	

中心
帰

とめ

中心
家

とめ

中心
兄

『家』の組み立てに気をつけて書きましょう。

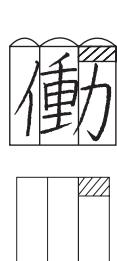
※はらいの方向に注意して
左右のつりあいをとる
中心にもどる

〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名						
段・級						
学年	六					
名前	役所 葵					
考 え る 働 き の 一 つ で す。	物 事 を ま と め る こ と が	共 通 点 を 見 つ け 出 し				



三つの部分の組み立て方を考えよう

中心
事
長く

中心
点
横画の長さと分間に注意

『共通点』
文字の外形を見て、形を整えましょう。
「れっか」の点の方向に注意
（筆順）
一 レ 占 点

支部名						
段・級						
学年	五					
名前	福本 亮太					
が 目 標 で し た 。	果 を 全 部 出 し 切 る こ と	大 変 だ つ た 練 習 の 成				



『目標』
字形を整えて、ていねいに書きましょう。
文字の組み立て

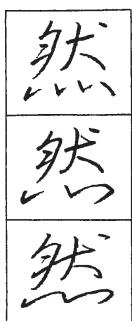
〔7月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学 年	
中二	
名 前	
牧野 なほ	近頃は、安全で健康によいもの を求める人びとを中心に天然酵母 パンが見直されている。

支部名	
段・級	
学 年	
中一	
名 前	
村岡 亜美	近頃は、安全で健康によいもの を求める人びとを中心に天然酵母 パンが見直されている。



・行書のワンポイントアドバイス
「れっか(レ)」の行書には、「四つの点」に連続線をつけたものから「三つの点」に省略したもの、更に全部つづけてしまうものまでいろいろあります。

中心 安全で健康によい
見 酵 丙
酉はやや小さく 曲がる

『パン』
行がゆがまないよう、整えて書きましょう。

これからのお品締切日と課題

7月号～12月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・ 小1	締切日
波打ち際	適切	健康	参加	パンダ	人口	しおり	の 7月 10日
をきく	しおさい	宇宙遊泳	文化財	林間	千本	さんご	に じ 7月
歩く	砂浜を	湖畔	道路	草原	節水	青い	こかげ 8月 9日
ふうりん	のあと	北斗七星	船乗り	海底	美しい	上下	うみ 8月
弘法の筆	遣唐使	美術	馬車	平行	月見	むすび	ま 9月 10日
つきかけ	さゆる	無我夢中	心構え	読む	マス目	おんぶ	ふえ 9月
ノーベル賞	競技	庭園	青空	合同	水玉	このは	ひ 10月 10日
むまち	くれなず	秋の夜長	書留	ステップ皿	風力	もみじ	きく 10月
成し	お持て	縮図	街角	秋冬	木の葉	あかり	け 11月 10日
ひだまり	のなか	漢和辞典	働く	気配り	集中	おやつ	そら 11月
知る	字源を	温暖化	ブランド	信念	詩人	まほう	ら 12月 6日
すみわらた	すみわた	風力発電	人権	理想	もみの木	ひなた	かぶ 12月

8月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

小 5 幼・小1
きのう、はな
びをしました。

小 2 每しゅう、プール
に通っています。

小 3 午後は、国語のテ
ストがあります。

小 4 ごみをもやすときには
出る熱を利用して、電
気をつくります。

小 5 来年へ期待する心が伝
わってきます。

小 6 ふるさとの友人の家
を久しぶりに訪問し、ト
ランプをしました。

中学生

岬の果ての断崖にそびえ、海
に向かって導くように光を放つ
灯台にロマンを感じます。

今月のホープ

小五 高野唯愛（白硫支部）



迫力あり堂々の作。字形整い「とめ」「はね」「払い」名前までしっかり書けています。

小三 萩原佳央（紅葉支部）

支部名	紅葉	外
段・級	准初	は
学年	三	強
名前	萩原佳央	い
		風
		か
		ふ

とめ、はね、はらい、組み立てを注意深く良く書かれている。「風」はそりが見事で、素晴らしい、さわやかな書。

小六 仲田実生（土氣支部）



のびのびとした書きぶりがよい。紙面を大きく広く使って、点画もていねいです。名前も落ち着いて安定の作。

中一 永井瑚夏（瀬川支部）

支部名 瀬川	「くさまくら」は「旅」、「ぬばたまの」	外
段・級 中一	は「夜」の枕詞です。和歌でよく使われました。	は
学年		強
氏名 永井瑚夏		い
		風
		か
		ふ

安定した筆致で力強く審査していくすぐ目についた。字形も正しく文字に大小もあり余白が美しい。爽快な作。

筆順を学ぼう



4年	色	ショク シキ いろ	ノ ク ク ハ ハ ハ	色
	参	サン まい・る	ム ド ド ヲ ヲ ヲ	参
5年	間	カン あいだ ま	丨 ム ム ム ム ム	間
	健	ケン すこ・やか	イ ヨ ヨ リ リ リ	健
6年	康	コウ	一 广 戸 庄 康 康	康
	財	ザイ サイ	目 贝 貯 財 財	財
	適	テキ	サ 商 商 適	適
	宙	チュウ	宀 宍 宍 宙 宙	宙
	遊	ユウ ユ あそ・ぶ	ユ ヲ ヲ フ フ フ	游
中学	泳	エイ およ・ぐ	シ ジ 汗 汗 泳 泳	泳
	波	ハ なみ	シ ヲ 汗 汗 波 波	波
	際	サイ きわ	尸 𩫑 𩫑 𩫑 𩫑 𩫑	際

行書を学ぼう (227)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」



ひらがなの字源 (227)

* 源字については、異字体から変遷したものに *印をして()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

く	き	を	い	さ	お	し	源字	字形
久 久 く	幾 多 キ	遠 キ モ	以 シ イ	左 モ モ	於 モ モ	之 モ モ	カ	カ

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

漢字に親しもう

76

七月号中学生の毛筆課題「宇宙遊泳」から「泳」にスポットを当てて、成り立ち、使い方から「永」の漢字を家族でおぼえよう。

泳
おんぐん
エイ
よぐ
みず → シ (せん)

ハシノ 游泳

三

泳

川(=水)と、川(=ながくのびる)
をくみあわせた字。
おぼれずに、ながく水にうかぶことをあ
らわし、「およぐ」のいみになつた。

①およぎ。およぐ。——水泳・遠泳・競泳
背泳・遊泳・力泳

- 池で泳いではいけない。
- 競泳で速さを競う。
- 三キロメートルの遠泳に挑戦した。
- 平泳ぎはできるが、背泳ぎはできない。
○ 世間を泳ぎわたる。

漢字を家族でおぼえよう

永
永

泳十永→泳

水の中で、ながいあいだおぼわ
ずいてること。→およぐ。

詠



○毎年、長野竹軒先生（前文部科学省初等中等教育局教育課書道連盟理事、東京芸術大学名譽教授）に書道藝術学生版の主に課題の手本についてご指導を頂いています。より良い本を作る為には厳しいですが欠かせない工具です。今回、長野先生から「年々教材手本の質は向上しています」とお褒めの言葉をいただきました。とても嬉しく思います。7月から表紙に、「学習指導要領準拠」と入れる事が出来ました。

○皆様に、大切なお知らせがあります。この7月号で学生版を卒業致します。平成22年4月に書道芸術院事務局次長を任命し、足掛け7年、主に書道藝術学生版の編集責任者、全国学生書道展の責任者、書道芸術院の運営に携わってきた事長にお話しし後任をとお願いしました。院幹部の先生方、事務局の先生方の温かいご理解を頂き退任せで頂く事になりました。

○76冊の編集に携わる事が出来ました。全力投球でやれた充実感がります。多くの先生方の力を借りての編集作業でしたが、特に武藏野大学教育学部教授広瀬舟雲先生、小沢写真印刷、加藤由夏様には本当にお世話になりました。後任には、片岡豪峰先生が担当してくださいます。是非、より良い学生版をお願いいたします。誌友の皆様、これからも素晴らしい作品を沢山書いてください。私にこの機会を与えてくださいました。是れ、よくぞおっしゃった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

